

1. 基礎情報

自治体名	茨城県常総市
部署名	市長公室市民と共に考える課
電話番号	0297-23-2145
メールアドレス (※は@に変換してください)	shiminkyodo ※ city.joso.lg.jp
ホームページ	http://www.city.joso.lg.jp/



「やさしい日本語」研修の様子

在留外国人数	令和3年1月末現在	5,559	人	住民基本台帳人口に占める割合	8.9	%
うち、在留資格別上位3種類の人数及び在留資格名	1位 (永住者)	1,846	人	2位 (定住者)	1,535	人
				3位 (技能実習)	599	人
うち、国籍別上位3ヶ国の人数及び国籍名	1位 (ブラジル)	1,972	人	2位 (フィリピン)	1,224	人
				3位 (ベトナム)	639	人

2. 多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

大分類	コミュニケーション支援	
小分類	行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備	
取組のポイント	来庁の有無を問わず、情報が入手しやすい環境を整備している。	
具体的な取組内容	<p>常総市の外国人数は5,559名で過去最多を更新しており、その割合(常住人口比)は9.39%を占め、42か国、公用語は約30にも及んでいる。庁舎を訪れる外国人は毎日一定数存在しており、相談内容もCOVID-19をはじめ、税金、教育、子育て、DV、市営住宅の入居など多様化、複雑化、専門化している。そのため、円滑な意思疎通が図れるよう下記の取組みを実施した。</p> <p>【「やさしい日本語」研修の実施】 職員を対象に外国人との意思疎通を円滑に図り、もって業務の効率化を目指し実施</p> <p>【常総市外国人総合案内】 場所、時間：本庁舎1階市民課 市民総合相談室、平日、9時から17時(年末年始を除く) 対応言語：11言語以上(日本、ポルトガル、スペイン、英、タガログ、ベトナム、ネパール、インドネシア、韓国、タイ、中国) 通訳手段：ポルトガル語通訳者3名、ポケトーク8台、みえる通訳2台</p> <p>【やさしい日本語での情報発信】 市HPでは、「やさしい日本語」のページを作成し、防災情報、ゴミ等の生きていくために必要な情報(ストック情報)を中心に掲載 市FBでは、COVID-19に関する情報をはじめ、外国人に特に関連し、タイムリーに伝えるべき情報(フロー情報)を中心に掲載</p>	
大分類	意識啓発と社会参画支援	
小分類	外国人住民の社会参画支援	
取組のポイント	事業主等のほかに、防災訓練等に参加していた一般の外国人にも参加を呼びかけ、リアルな声を聴取した。	
具体的な取組内容	<p>常総市の外国人の中で多数(1,972名：約36%)を占めるブラジル人のリアルな声に耳を傾け、対話を重ねることで信頼関係を構築し、社会参画の推進を図るため実施した。</p> <p>【市長とブラジル人コミュニティの意見交換】 開催日：令和2年11月30日 参加人数：個人事業主、教育関係者など7名(うち2名は書面で意見提出) 内容：①今やっていること。(現状) ②協力できること。(協力) ③これからやりたいこと。(希望)について、各自発表 それらの意見について、市長が市の取組みを紹介し、その後フリートークを実施 主な意見：「COVID-19の影響で失業者が多く、雇用につながる資格や免許の取得支援をお願いしたい。」 「日本の法律、文化を知る機会があるとよい。」 「市の行事や災害時に協力していきたい。オンラインを活用し自閉症支援を行いたい」という頼もしい意見も聞かれた。 今後の展開：市商工会などとも意見交換を実施し、相互理解をファーストステップとし、地域行事についても一緒に企画運営を目指す。 また、災害時には同胞に情報を伝えるキーマンとして活躍できるよう信頼関係の構築を目指す。</p>	